

科目名 授業指導計画

授業者

- 1 日 時 令和6年2月16日(金) 5限
- 2 実施場所 13HR教室(南館1階)
- 3 H R 13HR
- 4 生徒観 本学級の生徒は、歴史に興味を持っている生徒も多く、授業態度は落ち着いている。しかし、中学校で学んだ内容など、知識は十分に身につけておらず、話し合いなどの参加も消極的である。本単元の学習において、事象の変容や動向を比較したり、相互に関連付けたりして、事象同士の因果関係やその影響等について理解し、思考できる力をペアワークの中で身に付けさせたい。
- 5 単 元 日本の帝国主義と東アジア
- 6 本時の目標 ペアワークを行うことで、事象の背景や因果関係を考察し、理解する中で、他者との協働により、課題を解決する行動力・コミュニケーション能力の育成する。
- 7 本時の展開

	指 導 事 項	留 意 点
導入 (5分)	・ 前回の復習を行う。	・ 日本の中国進出に至る過程を復習させる。
展開1 (15分)	・ 日本の満州進出の展開について理解する。	・ ペアワークを行い、日本の満州進出によるアメリカとの関係悪化に気づかせる。 ・ 電子黒板に列強の中国進出の図を示し、アメリカのねらいに気づかせる。
展開2 (20分)	・ 韓国併合に至る外交上の過程と、日本の意図と韓国の反応について理解する。	・ 日本による韓国の植民地化が段階的に進行していくことに留意させる。
まとめ (5分)	・ まとめの問いを考える。	

※ S S Hに係る目標

- 「グローバルな視点に立ち、科学的によって思考力によって課題を発見する能力の育成」
- 「他者との協働により、課題を解決する行動力・コミュニケーション能力の育成」
- 「未来につながる新しい価値観を創造する力の育成」